

平成28年度

事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

①グッドデザイン賞事業

グッドデザイン賞は、様々に展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じて、社会全体をより豊かなものへと導くことを目的とした総合的なデザイン推奨の運動である。2016年度のグッドデザイン賞事業は、昨年に引き続き永井一史審査委員長、柴田文江審査副委員長のもと、「よいデザインを選ぶ」ことによって、応募者とともに新たな「発見」を行い、次なる社会の創造へ繋げていく仕組みとなるために、「発見」「共有」「創造」をキーワードに、「フォーカス・イシュー」を中核に「次なる社会の可能性を発見する」取り組みを積極的に実施した。

実施状況

2016年度グッドデザイン賞は、4月6日から募集を開始して9月29日に受賞結果を発表した。また10月28日にグッドデザイン大賞、金賞、特別賞各賞を発表した。

審査対象数：4,085件

受賞数：1,229件

うち、東日本大震災復興支援特例措置枠※1での受賞：29件

うち、海外デザイン賞連携※2による受賞：40件

受賞企業数：818社

※1 福島県、宮城県、岩手県に本拠を置く応募者に対する費用免除などの措置を実施。

※2 当会が事業連携を結ぶタイ、インド、シンガポールのデザイン賞受賞対象からグッドデザイン賞への応募による受賞。

事業方針

2016年度グッドデザイン賞は、永井審査委員長、柴田審査副委員長の体制のもと運営方針の検討を進め、適正な審査の実施、受賞後のプロモーションの強化、2年目となるフォーカス・イシューの拡充などに注力しつつ運営を行った。

適正な審査の実施

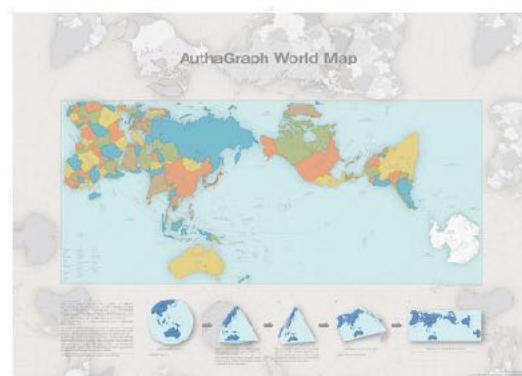
より多角的な視点から議論が行えるよう、2016年度は審査の視点を改訂し、様々な分野から新たに26名の専門家を審査委員に迎え、審査を実施した。また、よりグローバルな視点から討議が行えるよう、二次審査会において外国人審査委員の人数を増員した。

受賞プロモーションの強化

これまで実施してきた受賞展「G展」を、「GOOD DESIGN EXHIBITION 2016」「みんなで選ぶグッドデザイン大賞展」「私の選んだ一品2016展」「LONG LIFE DESIGN EXHIBITION 2016」の4つの企画展に再構成した。また大手メディアや百貨店と連携し、様々なPR企画、販売企画を実施するなど、プロモーションを強化した。



GOOD DESIGN AWARD 2016



2016年度グッドデザイン大賞「オーサグラフ世界地図」



アジアにおけるプレゼンスの向上

デザイン賞を連携するタイ、インド、シンガポールを始め、現地審査会を実施した台湾、韓国、香港のほか、アセアン諸国を中心とした各国との連携を深め、各地域の産業との関係強化や各種イベントの実施など、グッドデザイン賞のプロモーションに努めた。

フォーカス・イシューの拡充

デザインが社会にはたらきかけるためのキーテーマとなる「フォーカス・イシュー」を設定し、各テーマに対して「今後の社会におけるデザインの可能性」を発見する役割を担うフォーカス・イシュー・ディレクターを置き、審査結果から発見した内容を提言化する活動を2015年度から始めた。これまでも、デザインの意義や価値を読み解くことを通じて、審査過程で新たな兆しを発見することが間々あった。これを社会へ向けて有効な提言として示すため「デザインが向き合うべき重要な領域」をテーマとして設定し、言説化する取り組みがフォーカス・イシューである。

2016年度は9項目のイシューを設定し、ディレクターによる知見を9つの提言として公表した。

2016年度フォーカス・イシュー・ディレクター

地球環境と共生：上田壮一（クリエイティブディレクター）

都市と社会基盤：伊藤香織（都市研究者）

地域社会とローカリティ：岩佐十良（クリエイティブディレクター）

技術と情報：ドミニク・チェン（情報学研究者、IT起業家）

医療と健康：内田毅彦（医師・医療機器インキュベーター）

安心と安全：加藤麻樹（人間工学研究者）

教育と学び：石戸奈々子（デジタルえほん作家）

ビジネスモデルと働き方：ナカムラケンタ（実業家、編集者）

文化と生活様式：藤崎圭一郎（デザイン評論家、編集者）

受賞発表

受賞発表に際し、永井審査委員長と柴田審査副委員長は、連名のメッセージで「ひとつの突出したデザインが主張するのではなく、それぞれのデザインが各々の役割を誠実に担いながら、集積して私たちの生活世界の全体像を成している」と述べた。また、これまであたりまえとされてきたことの役割をさらに深化させたり、既存のものを活かしたり、お互いの役割を補完しあうようなデザインが、ジャンルを問わず多く受賞していることを特長として挙げた。

グッドデザイン・ベスト100

グッドデザイン賞は、すべての受賞対象の中で特に高い評価を得た100件を「グッドデザイン・ベスト100」として選んでいる。これらは特別賞各賞の候補となるとともに、今後の各分野のデザインを先導するベンチマークとなりうるデザインとして位置づけられるものである。



グッドデザイン大賞選出

10月28日に実施したグッドデザイン大賞選出では、6件の候補者によるプレゼンテーションの後、審査委員と受賞者の投票を行い、「みんなで選ぶグッドデザイン大賞」展での来場者による投票数を加え集計した。その結果、得票数1位と2位の得票差が全得票数の5%に満たなかったため、1位と2位で2回目の投票を行った。その結果、「オーサグラフ世界地図」（慶応義塾大学 政策・メディア研究科 鳴川研究室+オーサグラフ株式会社）が788票、「トラクター YT3シリーズ（ヤンマー株式会社）」が412票となり、2016年度のグッドデザイン大賞は「オーサグラフ世界地図」に決定した。

大賞・金賞・特別賞

グッドデザイン大賞：1件

グッドデザイン金賞：19件

グッドデザイン特別賞【未来づくり】：8件

グッドデザイン特別賞【ものづくり】：7件

グッドデザイン特別賞【地域づくり】：3件

グッドデザイン特別賞【復興デザイン】：1件

ロングライフデザイン賞

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞は、デザインを通して、商品が市場においてより長く支持されることを顕彰するために、1980年に設立された歴史ある賞である。長年にわたり人々から支持され続け、これからも変わらず存在し続けてほしいデザインを顕彰する賞として運営している。

審査委員：柴田文江、永井一史、須藤玲子、川上元美

審査：ユーザーやデザイナーからの推薦に基づき、審査委員会が本賞の主旨に合致する対象を審査対象として選出。その対象について、応募者の同意を得たものを審査した。

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞：28件

プロモーション

広く社会に対してデザインの普及と啓発を進めるとともに、グッドデザイン賞の認知度向上・参加誘致を推進するため、各種のプロモーション施策を実施している。2016年度は受賞展「グッドデザインエキシビション2016」の主催のほか、全国各地でのグッドデザイン賞をテーマとする展示会やイベント、受賞商品の販売企画などへの協力を行った。



トラクター YT3シリーズ（グッドデザイン金賞）



ホシノタニ団地（グッドデザイン金賞）



東京防災（グッドデザイン金賞）



ロングライフデザイン賞審査会



LONG LIFE DESIGN EXHIBITION 2016

G展

グッドデザインエキシビション2016

2016年度グッドデザイン賞受賞デザインの出展を中心に、「グッドデザイン・ベスト100」特別展示、受賞数ランキング上位によるスーペリアカンパニー展示などをはじめ、ベスト100選出デザイナーの公開プレゼンテーションやワークショップなど、デザインを多面的に体感できるイベントとして開催した。なお、ステージプログラムは、港区文化プログラム連携事業として、港区と共催で開催した。

会期：10月28日～11月3日

会場：東京ミッドタウン

来場者数：47,702名（東京ミッドタウン来街者数は除く）

おもなプログラム：

2016年度受賞デザイン展示、グッドデザイン・ベスト100特別展示、スーペリアカンパニー2016特別展示、グッドデザイン・ベスト100デザイナーズプレゼンテーション、体験コーナー、アジアデザイン展示 ほか

「そなえるデザインプロジェクト」展示

日常から、発災、救出、避難、復旧、復興、それぞれのフェーズで役立つデザインの発想やヒント、ガイドラインを「そなえるデザイン」として、サテライト会場で展示紹介した。

会期：10月28日～11月3日

会場：渋谷ヒカリエ8/COURT・CUBE

みんなで選ぶグッドデザイン大賞

審査委員とグッドデザイン賞受賞者、そして一般の方々の投票で選ばれる「みんなで選ぶ、その年を象徴する賞」であるグッドデザイン大賞の候補6点を紹介する企画展を開催し、来場者投票を受け付けた。

会期：9月29日～10月23日

会場：GOOD DESIGN Marunouchi

私の選んだ一品2016展

審査委員ひとりひとりのお気に入りや気になったグッドデザイン賞受賞作＝「一品」を通じて、デザインのもつ魅力や楽しさ、可能性を紹介した。

会期：9月29日～10月23日

会場：東京ミッドタウン・デザインハブ

LONG LIFE DESIGN EXHIBITION 2016

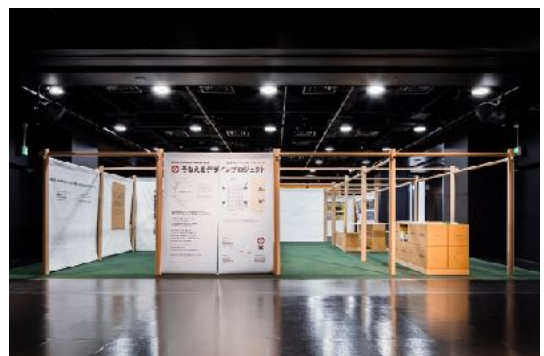
新しい文化を生み出し、社会の風景として存在するデザイン、そしてこれからも変わらずに存在し続けてほしいデザインを顕彰する「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」の本年度受賞デザインを展示紹介した。

会期：10月28日～11月20日

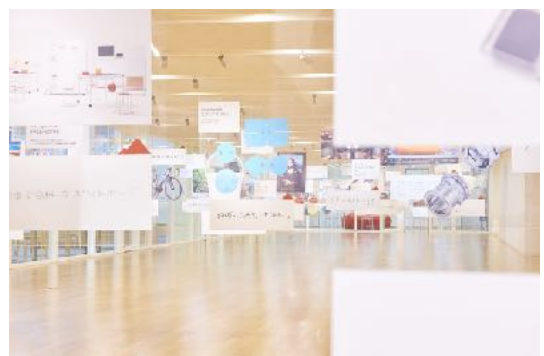
会場：GOOD DESIGN Marunouchi



グッドデザインエキシビション2016



そなえるデザインプロジェクト展



私の選んだ一品2016展

グッドデザイン賞における復興支援

2016年度もグッドデザイン賞において、東日本大震災復興支援特別措置を継続し、岩手県、宮城県、福島県を拠点とする事業者からの応募に要する費用などを無償とした。対象地域からは29件が受賞し、さらに、グッドデザイン特別賞〔復興デザイン〕1件を贈賞した。

説明会

グッドデザイン賞の理念や募集情報などに関する説明会を、4月から5月にかけて国内18地点で合計27回、国外でも中国、台湾で合計4回実施した。

受賞年鑑

2016年度受賞デザイン全件と、フォーカス・イシュー・ディレクターによる提言などを掲載した『GOOD DESIGN AWARD 2016』を、2017年3月に刊行した。



災害公営住宅（グッドデザイン特別賞〔復興デザイン〕）



フォーカス・イシュー・ディレクター・トークイベント



グッドデザイン賞説明会（台湾会場）



受賞年鑑『GOOD DESIGN AWARD 2016』

大賞・金賞・特別賞

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）1件

- ・世界地図図法 オーサグラフ世界地図／慶応義塾大学 政策・メディア研究科 鳴川研究室＋オーサグラフ株式会社

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）19件

- ・楽器 Seaboard RISE／ROLI Ltd.＋株式会社エムアイセブンジャパン
- ・ハイレゾ対応ステレオヘッドホン MDR-Z1R／ソニー株式会社＋ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社
- ・TV SERIF TV／Samsung Electronics Co., Ltd.
- ・乾電池関連製品 MaBeee（マビー）／ノバルス株式会社
- ・レンズ交換式デジタルカメラ sd Quattro System／株式会社シグマ
- ・便器 アクアセラミック／株式会社LIXIL
- ・BRT（バス高速輸送システム） 気仙沼線／大船渡線BRT／東日本旅客鉄道株式会社
- ・トラクター YT3シリーズ／ヤンマー株式会社
- ・車いす モルフ／株式会社松永製作所
- ・車椅子 COGY／株式会社TESS
- ・持続的自動気道陽圧ユニット ジェイパップ／株式会社メトラン＋有限会社オッティモ
- ・室内免震装置 ミューソレーター／アイディールブレン株式会社
- ・賃貸共同住宅 ホシノタニ団地／小田急電鉄株式会社＋株式会社ブルースタジオ
- ・nonprofit library VVG CHAPTER／VVG INC.
- ・都市公園 天王寺公園エントランスエリア「てんしば」／近鉄不動産株式会社
- ・避難所用・紙の間仕切りシステム 避難所用・紙の間仕切りシステム - 熊本地震での活用 -／ボランティア・アーキテクト・ネットワーク＋慶応義塾大学 SFC 坂 茂 研究室＋熊本大学 田中智之研究室＋熊本の建築家有志
- ・本 東京防災／株式会社電通＋NOSIGNER＋株式会社電通テック＋株式会社たぎ工房＋株式会社ブレーションシップ＋株式会社トランス・メディア＋岡村優太
- ・ロボット・プログラミング学習キット KOOV（クープ）／株式会社ソニー・グローバルエデュケーション＋ソニー株式会社
- ・障害のある人とつくる新しいはたらき方 Good Job！プロジェクト／一般財団法人たんぼぼの家

グッドデザイン特別賞【未来づくり】（経済産業省商務情報政策局長賞）8件

- ・バーチャルリアリティシステム PlayStation®VR／株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント
- ・大型望遠鏡用分割鏡交換ロボット 30m望遠鏡 TMT向け 分割鏡交換ロボット／三菱電機株式会社
- ・LED照明 ライトフェイス／有限会社ライトダ＋株式会社アド・シーズ＋株式会社岡安泉照明設計事務所＋日東光学株式会社
- ・バルーン型マルチコプター バルーンカム／パナソニック株式会社
- ・キッズリー キッズリー／株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
- ・ヘルスケアサービス Seem -スマホで出来る精子セルフチェック-／株式会社リクルートライフスタイル＋株式会社リクルートコミュニケーションズ
- ・音知覚装置 髪の毛で音を感じる新しいユーザインタフェース「Antenna」／富士通株式会社
- ・退院支援 退院支援ナビ／株式会社ホスピタリティ・ワン

グッドデザイン特別賞【ものづくり】（中小企業庁長官賞）7件

- ・野球、ソフトボール用ミット パーフェクトプロテクション／美津和タイガー株式会社
- ・アウトドア・グループトークテクノロジー BONX／株式会社BONX
- ・SIMフリースマートフォン NuAns NEO（ニュアンス・ネオ）／トリニティ株式会社
- ・家具用キャスター dae caster／ハンマーキャスター株式会社
- ・薪ストーブ アグニ ヒュッテ／株式会社岡本
- ・レジ袋 キャリーカップ／株式会社ミヤゲン
- ・地下式消火栓 ステンレス製弁体収納式地下式消火栓 サスキャメル／清水工業株式会社

グッドデザイン特別賞【地域づくり】（日本商工会議所会頭賞）3件

- ・地域共生型商業施設 コミュニティステーション東小金井／株式会社JR中央ラインモール＋株式会社リライト
- ・ゴミ袋 ジャックオーランタン型のゴミ袋／株式会社電通
- ・入居者向け食堂サービス トーコーキッチン／有限会社東郊住宅社

グッドデザイン特別賞【復興デザイン】（日本デザイン振興会会長賞）1件

- ・災害公営住宅 岩沼市玉浦西災害公営住宅B-1地区／有限会社都市建築設計集団 / UAPP

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞（日本デザイン振興会会長賞）28件

- ・シャープペンシル グラフレット／べんてる株式会社
- ・水性ボールペン Vコーン／株式会社パイロットコーポレーション
- ・サインペン プチ／株式会社パイロットコーポレーション
- ・リング型指サック メクリッコ／プラス株式会社
- ・伝票 伝票／コクヨ株式会社
- ・フラットファイル フラットファイル／コクヨ株式会社
- ・のり付きパネル ハレパネ／ブラチナ万年筆株式会社
- ・トランスフォーマー トランスフォーマー マスターピースシリーズ／株式会社タカラトミー
- ・充電式ニッケル水素電池 エネループ（単3形・単4形：海外用デザイン）／パナソニック株式会社
- ・携帯型実体顕微鏡 ファーブルフォト／株式会社ニコン＋株式会社ニコンビジョン
- ・長靴 バードウォッチング長靴／公益財団法人 日本野鳥の会
- ・タフドームシリーズ テント／コールマン ジャパン株式会社
- ・化粧石鹸（固形石鹸） 化粧石鹸カウブランド赤箱／化粧石鹸カウブランド青箱／牛乳石鹸共進社株式会社
- ・救急絆創膏 バンドエイド®／ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 コンシューマーカンパニー
- ・鎮咳去痰薬 龍角散／株式会社 龍角散
- ・飴菓子 ボンタンアメ／セイカ食品株式会社
- ・炭酸飲料 オロナミンCドリンク／大塚製薬株式会社
- ・清涼飲料水 ポカリスエット／大塚製薬株式会社
- ・牛乳 明治おいしい牛乳／株式会社 明治
- ・ホッピー® ホッピー、黒ホッピー／ホッピービバレッジ株式会社
- ・日本酒 剣菱／剣菱酒造株式会社
- ・スツール バタフライスツール S-0521／株式会社天童木工
- ・椅子 214／株式会社アイデック
- ・コンデンサーマイクロホン C-800G/9X／ソニー株式会社
- ・電子レンジ Panasonic 電子レンジ NE-710GP／パナソニック株式会社
- ・反射ロープ 高輝度反射ロープ／日本リフレクト化学工業株式会社
- ・自転車 アルベルト／ブリヂストンサイクル株式会社
- ・自動二輪車 ギア／ヤマハ発動機株式会社

審査委員長メッセージ

デザインが社会に深く浸透することで、

社会の課題や人々のニーズを見通す解像度も高まっています。

「何かを変えること、新しいものを生み出すこと」がデザインのおもな役割だった時代から、

「人々が求めるものを丁寧なまなざしで見出し、日常の暮らしを豊かにすること」へと、

デザインに対する期待は変化しています。

今年のグッドデザイン賞の受賞結果を見わたしたときに感じるのは、

ひとつの突出したデザインが主張するのではなく、

それぞれのデザインが各々の役割を誠実に担いながら、

集積して私たちの生活世界の全体像を成していることです。

あたりまえとされてきたものごとに疑問を投げかけ、その役割をもう一步深化させたデザイン。

リノベーションのように既存のものを活かしながら新しい可能性を引き出すデザイン。

複数のデザインが相互補完する仕組みを持ったデザイン。

最新のテクノロジーを暮らしや社会の中に丁寧に落とし込んだデザインなどがありました。

グッドデザイン賞は、デザインに対する評価だけではなく、

デザインの背景にある仕組みや視点、内在する可能性を見出し、

その知恵を広く共有していくことを役割としています。

今年を受賞作の中にも、そういった優れたモデルとなりうるデザインを数多く見出すことができました。

これからさまざまな機会や手法を通じて、それらの価値を社会へ届けてまいります。

複雑で不透明な変化の時代において、今回の受賞結果から、

「これからの社会を創出していくデザインの可能性」を

見出していただけることを願っています。

(2016年9月29日)



永井一史審査委員長



柴田文江審査副委員長

審査委員会

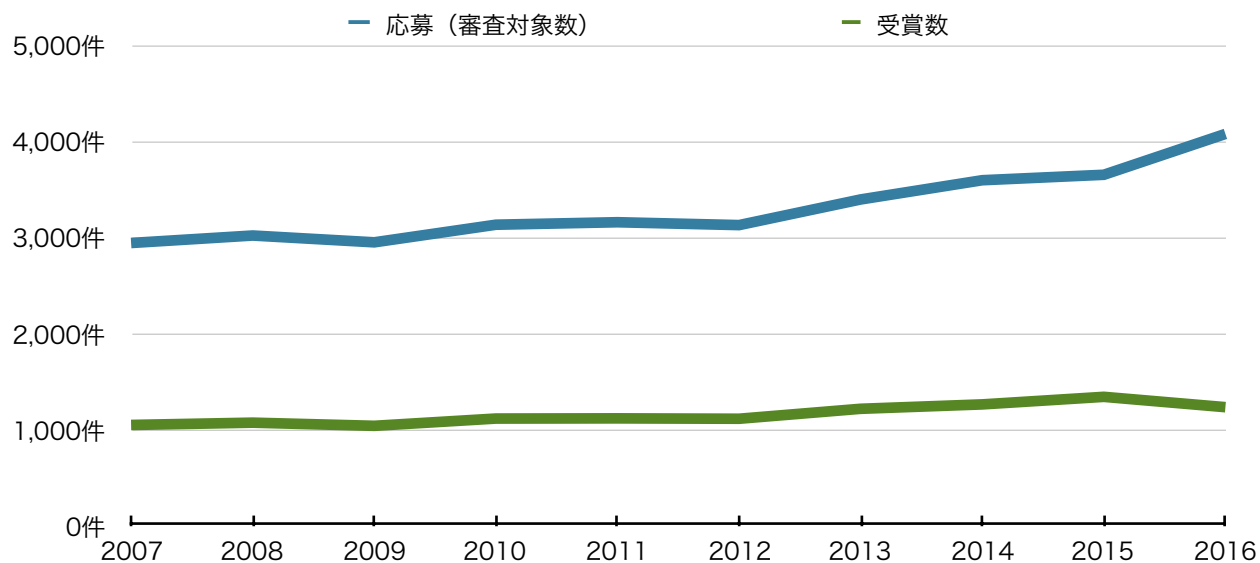
審査委員長 永井 一史（クリエイティブディレクター） 審査副委員長 柴田 文江（プロダクトデザイナー）

審査委員

ユニット01：生活プロダクト（小物類） 倉本 仁（プロダクトデザイナー） 安東 陽子（テキスタイルデザイナー・コーディネーター） 原田 祐馬（アートディレクター / デザイナー） 山田 遊（バイヤー） Carl Liu（インダストリアルデザイナー）	ユニット02：生活プロダクト（趣味・健康用品） 濱田 芳治（プロダクトデザイナー） 佐々木 千穂（エクスペリエンスデザイナー） 手槌 りか（プロダクトデザイナー） 松山 剛己（経営者）	ユニット03：生活プロダクト（生活雑貨・日用品） 鈴木 元（プロダクトデザイナー） 池田 美奈子（編集者） 小林 幹也（デザイナー/クリエイティブディレクター） 柳原 照弘（デザイナー） Pradyumna Vyas（インダストリアルデザイナー）
ユニット04：生活プロダクト（キッチン・家電） みやけ かずしげ（デザイナー） 鈴木 啓太（プロダクトデザイナー） 村田 智明（プロダクトデザイナー） 安西 葉子（デザイナー） 渡辺 弘明（インダストリアルデザイナー） Manfred Wang（プロダクトデザイナー）	ユニット05：情報機器 林 信行（ジャーナリスト/コンサルタント） 緒方 壽人（デザインエンジニア） 岡本 誠（インタラクティブデザイン） 宮崎 光弘（アートディレクター） Do-sung Chung（インダストリアルデザイナー）	ユニット06：家具・住宅設備 長町 志穂（ライティングデザイナー） 鈴野 浩一（建築家） 藤森 泰司（家具デザイナー） 山本 秀夫（プロダクトデザイナー） Eggarat Wongcharit（クリエイティブディレクター）
ユニット07：モビリティ 根津 孝太（クリエイティブコミュニケーター） 伊藤 香織（都市研究者） 岡崎 五朗（自動車ジャーナリスト） 佐藤 弘喜（デザイン学研究者） Juhyun Eune（メディアデザイナー）	ユニット08：医療・生産プロダクト 朝倉 重徳（インダストリアルデザイナー） 内田 毅彦（医師・医療機器インキュベーター） 加藤 麻樹（人間工学研究者） 青木 俊介（ロボットクリエイター） Cail Jun（デザイン学研究者）	ユニット09：店舗・公共プロダクト 安次富 隆（プロダクトデザイナー） 玉井 美由紀（CMFデザイナー） 寺田 尚樹（建築家/デザイナー） 村上 存（設計工学研究者） Jung-Ya Hsieh（発明家）
ユニット10：住宅・住宅工法 手塚 由比（建築家） 石川 初（ランドスケープデザイナー） 長坂 常（建築家/デザイナー） 日野 雅司（建築家） 松村 秀一（建築学研究者/工学博士） Gary Chang（建築家）	ユニット11：産業公共建築・建設工法・インテリア 山梨 知彦（建築家） 千葉 学（建築家） 中村 拓志（建築家） 星野 裕司（土木デザイナー） Lee Siang Tai（建築家）	ユニット12：メディア・パッケージ 齋藤 精一（クリエイティブ/テクニカルディレクター） 色部 義昭（グラフィックデザイナー） 喜安 政幸（教育番組編集長） 平林奈緒美（アートディレクター/グラフィックデザイナー） Ming-Lung Yu（グラフィックデザイナー）
ユニット13：一般・公共向けソフト・システム・サービス 鹿野 護（アートディレクター） 石戸 奈々子（デジタルえほん作家） ドミニク・チェン（情報学研究者/IT起業家） マシュー・フォレスト（サービスデザイナー）	ユニット14：BtoBソフトウェア・システム・サービス・取り組み 青山 和浩（システム工学研究者） 上田 壮一（クリエイティブディレクター） ナカムラ ケンタ（実業家/編集者） 閑歳 孝子（エンジニア）	ユニット15：一般・公共向け取り組み 五十嵐 太郎（建築評論家） 岩佐 十良（クリエイティブディレクター） 藤崎 圭一郎（デザイン評論家/編集者） 並河 進（クリエイティブディレクター） 山崎 亮（コミュニティデザイナー）
韓国審査ユニット Juhyun Eune（メディアデザイナー） Do-sung Chung（インダストリアルデザイナー） 佐々木 千穂（エクスペリエンスデザイナー） 手槌 りか（プロダクトデザイナー）	台湾審査ユニット 千葉 学（建築家） Manfred Wang（プロダクトデザイナー） Jung-Ya Hsieh（発明家） Ming-Lung Yu（グラフィックデザイナー） 倉本 仁（プロダクトデザイナー）	香港審査ユニット 柳原 照弘（デザイナー） Carl Liu（インダストリアルデザイナー） Cail Jun（デザイン学研究者） Gary Chang（建築家） 青木 俊介（ロボットクリエイター）
海外デザイン賞との連携応募に対する審査 色部 義昭（グラフィックデザイナー） みやけ かずしげ（デザイナー） 佐々木 千穂（エクスペリエンスデザイナー） Pradyumna Vyas（インダストリアルデザイナー） Eggarat Wongcharit（クリエイティブディレクター） Lee Siang Tai（建築家）		

事業実績

グッドデザイン賞応募数、受賞数の推移



都道府県別受賞件数

北海道 8	埼玉県 26	岐阜県 16	島根県 2	佐賀県 1
青森県 4	千葉県 11	静岡県 23	鳥取県 1	長崎県 4
岩手県 2	東京都 510	愛知県 49	岡山県 4	熊本県 2
宮城県 21	神奈川 73	三重県 1	広島県 5	大分県 2
秋田県 1	新潟県 23	滋賀県 3	山口県 1	宮崎県 1
山形県 3	富山県 6	京都府 17	徳島県 0	鹿児島県 2
福島県 7	石川県 10	大阪府 179	香川県 4	沖縄県 3
茨城県 3	福井県 11	兵庫県 22	愛媛県 1	
栃木県 10	山梨県 4	奈良県 6	高知県 4	
群馬県 2	長野県 12	和歌山県 4	福岡県 17	

海外地域別受賞件数

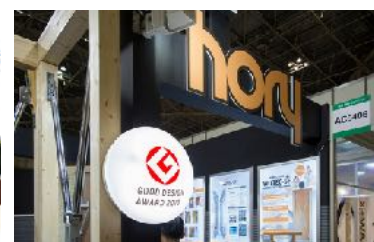
オーストラリア 3	中国 34	デンマーク 1	フランス 1	ドイツ 7
香港 7	インド 4	韓国 47	スロベニア 3	台湾 59
タイ 36	イギリス 1	アメリカ 8		

「Gマーク」の使用

2017年1月に実施した認知率調査によると、「Gマーク」は79.0%、「グッドデザイン賞」は85%の認知率となり、依然として高い結果となっている。

グッドデザイン賞受賞者による「Gマーク」を使用したPR活動やプロモーション活動は、強制を伴うものでないが、受賞後1ヶ月間の共同PRキャンペーンの浸透もあり、一層広範囲で行われるようになってきている。受賞商品やカタログなどでの使用のほか、ウェブサイト、ソーシャルネットワーク、プレスリリース、展示会など様々な媒体で効果的に活用され、生活者の目に触れる機会は増えている。

2016年度の実賞件数は前年度と比べ約100件減少したが、前年度以前の受賞者による継続使用は堅調であり、使用申込状況は前年と大きな変動はなかった。受賞者の「Gマーク」に対する信頼性は引き続き高く、受賞者とともに「Gマーク」を通じて、より良いデザインを広げる運動が拡大していることがうかがえる。



スケジュール

4月6日～6月1日	グッドデザイン賞の応募受付期間
4月6日～6月16日	ロングライフデザイン賞への一般からの推薦期間
6月8日～6月28日	一次審査期間
6月23日	ロングライフデザイン賞審査対象の決定
6月29日	一次審査結果通知
7月7日～9月6日	二次審査期間
7月26日～28日	二次審査会
7月28日	ロングライフデザイン賞審査会
7月30日～8月1日	台湾二次審査会
8月3・4日	韓国二次審査会
8月14・15日	香港二次審査会
8月18日	グッドデザイン賞確定会、グッドデザイン・ベスト100選考会
8月19日	グッドデザイン金賞・特別賞審査会
9月7日	二次審査結果通知
9月29日	受賞発表
9月29日～10月23日	グッドデザイン大賞一般投票
9月29日～10月23日	みんなで選ぶグッドデザイン大賞展 (会場：GOOD DESIGN Marunouchi)
9月29日～10月23日	私の選んだ一品2016 (会場：東京ミッドタウン・デザインハブ)
10月28日～11月3日	GOOD DESIGN EXHIBITION 2016 (会場：東京ミッドタウン、渋谷ヒカリエ)
10月28日～11月20日	LONG LIFE DESIGN EXHIBITION 2016 (会場：GOOD DESIGN Marunouchi)
10月28日	グッドデザイン賞受賞祝賀会 グッドデザイン大賞選出・発表 グッドデザイン特別賞、ロングライフデザイン賞発表
11月29日	グッドデザイン特別賞贈賞式
2017年3月	受賞年鑑「GOOD DESIGN AWARD 2016」発刊



②海外事業

世界情勢は日々変化しており、日本を取り巻く環境や日本のデザインに向けられる目も変わってきている。価格競争から少し離れ、改めて日本の製品やサービスに対する評価が高まっている趨勢の中、これを好機と捉え、当会はグッドデザイン賞をはじめ、日本のデザインの国際的なプレゼンスの向上と、デザインを通じた国際交流の促進に取り組んでいる。2016年度は、グッドデザイン賞の運営で培ったデザイン評価とプロモーションの手法を積極的に活かし、海外のデザイン関連団体やデザイン賞との協力関係の構築、マーケット開拓、人材育成、デザイン情報の発信などを推進した。

デザイン賞連携・運営支援

以前より賞連携を行っているタイ「デザインエクセレンス賞」、インド「インディアデザインマーク」、シンガポール「シンガポールグッドデザインマーク」に対して、2016年度も日本から審査委員を派遣し審査に加わるなど、運営支援を継続した。タイでは、Thailand Creative Design Center主催の「チェンマイ・デザイン・ウィーク」に初めて参加し、グッドデザイン賞審査委員の手槌りか氏、岩佐十良氏がInternational Conferenceでプレゼンテーションを行なったほか、2016年度グッドデザイン賞受賞デザインの展示も実施した。

インドでは、インディアデザインマークの応募促進とデザイン啓発のためのセミナーを、バンガロールとコイナトールの二箇所で開催し、ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 先端デザイングループの池ヶ谷貴徳氏が講師として参加した。

トルコは、グッドデザイン賞審査委員の佐々木千穂氏に審査会とセミナーに派遣するなど協力を行った。

また、新たにインドネシア、メキシコからもデザイン賞連携協力の依頼があり研修を受け入れ、2017年度からのスタートを目指し、今後さらに具体的な連携協力について協議を重ねていく。

国際団体イベントの初開催

当会が加盟する国際デザイン団体の一つであるIFI(国際インテリア・アーキテクト/デザイナー団体連合)が、5月の最終土曜日に定める「ワールドインテリアデー」にちなみ、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会と共同で、トレンドセミナーや展示、シンポジウムなどを含めた週間イベント「ワールドインテリアウィーク」を初めて東京ミッドタウン・デザインハブで開催した。サテライトイベントは全国各地でも行われ、期間中は延べ2,169名の参加があった。

交流・調印

2016年度は新たに台湾の中小企業の産業振興団体である中衛発展中心(CSD)との間で、デザイン振興、交流協力に関する覚



タイ・デザインエクセレンス賞審査会後のトークイベント



インド・インディアデザインマーク セミナーでの講演



トルコ・デザインウィークでの講演



インドネシアからの研修

書を締結し、今後共同プロモーションや人的交流プロジェクトを進行させる予定である。

中国ではChina Industrial Design Associationの主催で、第1回となる「World Industrial Design Conference(WIDC)」が開かれた。当会をはじめ26の国と地域からデザイン振興機関や教育機関の代表者が招待され、講演や円卓会議が行われた。当会からはグッドデザイン賞と産業振興に関するプレゼンテーションを行った。

教育交流

2010年に浙江大学(中国)および千葉大学との三者間で締結した人材育成に関する連携協定に基づき、2016年11月から浙江大学で、デザインプロセスやプロフィール作成を中心とした全4回の集中演習授業「融合と創意デザイン」を、キヤノン株式会社 総合デザインセンターとともに実施した。

国際ナショナル・メディアパートナー

海外でのグッドデザイン賞に対する認知度向上を目指し、2016年度に受賞展「グッドデザインエキシビション2016」のメディアパートナーとして、下記の海外有力媒体7社を招聘し、受賞展と表彰式の見学、受賞デザイナーや審査委員のインタビューなどの機会を提供した。

装飾(中国)/Design Surfing(台湾)/La Vie(台湾)/cobosocial(香港)/designboom(イタリア)/Yanko Design(アメリカ)/dezeen(イギリス)



ワールドインテリアウィークの企画展



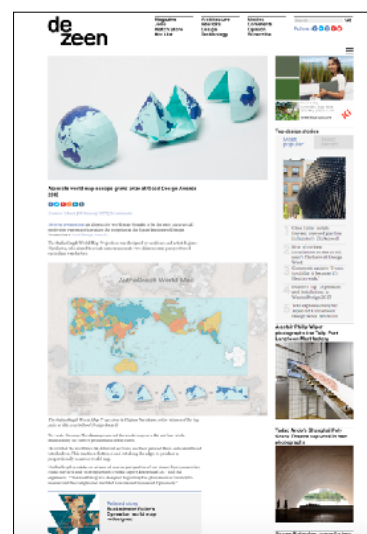
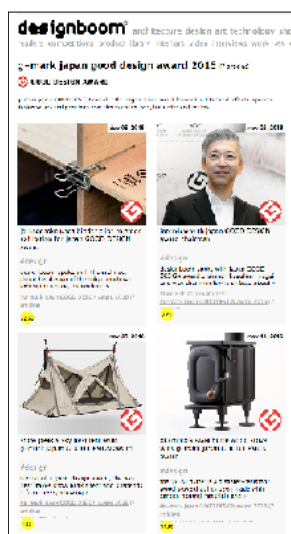
World Industrial Design Conference



浙江大学での集中演習授業



メディアパートナー掲載事例



③広報事業

日本デザイン振興会では、様々なパートナーと連携し「場」を使ったプロモーション活動を積極的に行っている。2007年からは東京ミッドタウン・デザインハブとインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを、2014年からは香港などでGOOD DESIGN STOREを、2015年からはGOOD DESIGN Marunouchiを開設し、展示会やセミナーなど通じて様々な関与者を巻き込みながら、デザインが持つ社会的価値を広く訴求している。

GOOD DESIGN Marunouchi

日本国内で初となる常設型の広報拠点としてオープンしたGOOD DESIGN Marunouchiは、2016年10月末で1周年を迎え、年間来場者数は約8万人を記録した。2016年度は計18の企画展と約50本のイベントを実施した。企画展は、2016年度グッドデザイン賞のプログラムとして、グッドデザイン大賞の候補展示及び一般投票、ロングライフデザイン賞受賞発表展などを開催した。外部企業・団体によるデザインをテーマにした展示会も開催し、グッドデザイン賞の発信の場として、また外部との連携の場として本格的に活用されるようになった。さらに、丸の内地区の企業や施設との連携企画もスタートした。



2016年度開催の企画展示

名称	会期	実施主体	入場者数
Design. Cities. Future. デザイン・都市・未来 DFA Design for Asia Awards 2016	4月14日～4月24日	香港デザインセンター	1,849名
私たちのロングライフデザイン	4月28日～5月15日	日本デザイン振興会	6,638名
今デザインができること。 - 2016 フォーカス 이슈 -	5月18日～6月8日	日本デザイン振興会	4,290名
「すべて手作り」-名工たちの手によって守られるフィリピンのデザインに宿る真の独自性	6月12日～6月30日	フィリピン共和国大使館 商務部、フィリピン貿易 産業省 輸出マーケティング局	2,003名
夏のデザイン	7月4日～7月31日	日本デザイン振興会	5,535名
私のデザイン - グッドデザイン賞審査委員の一品 -	8月11日～9月11日	日本デザイン振興会	6,231名
MESH「いいね」をデザインするコンテスト応募作品展	9月19日～9月25日	ソニー株式会社 MESHプロジェクト	612名
みんなで選ぶグッドデザイン大賞	9月29日～10月23日	日本デザイン振興会	6,064名
グッドデザイン・ロングライフデザイン賞受賞展 いいデザインはいつもそこにある。	10月28日～11月20日	日本デザイン振興会	6,485名
PVC DESIGN AWARD 2016 受賞展示会	11月25日～12月4日	日本プラスチック製品加工組合連合会 他	3,979名
Rody SJ50 Special Exhibition	12月6日～12月14日	株式会社LA DITTA	1,992名
GOOD DESIGN AWARD2016 燕三条 - TSUBAMESANJO -	12月16日～12月25日	燕三条地場産業振興センター	6,783名
GOOD DESIGN x LIVING	2017年1月12日～22日	日本デザイン振興会	510名
i+ EXHIBITION	1月24日～2月5日	株式会社イトーキ、株式会社インターオフィス	817名
Orobianco x GOOD DESIGN Marunouchi POP-UP Gallery	2月11日～2月14日	伊藤忠商事株式会社、エース株式会社、株式会社グローバルプロジェクト	497名

たたら展	2月18日～2月26日	島根県奥出雲町	1,133名
グッドデザイン大賞記念 オーサグラフ世界地図展	3月8日～3月26日	日本デザイン振興会	2,212名
有楽町デザインガイド展	3月28日～4月6日	日本デザイン振興会	637名



東京ミッドタウン・デザインハブ

日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジの三者が構成機関を務めるデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブは、2016年度もギャラリースペースでの企画展示の開催、インターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを活用したデザインをテーマとする企画展やセミナー、ワークショップ、トークショーなどを複合的に展開し、人と人、そして情報を繋げる場として広く活用した。また、2017年度に迎えるデザインハブ10周年に向け、東京ミッドタウンのワーカーや住民を対象にしたデザイン視点での活動をスタートすべく準備を進めた。

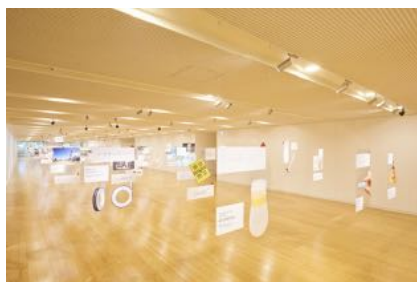
デザインハブ企画展示

2016年度はデザインハブ構成機関の企画と運営による企画展を9回、外部企画に基づく特別展を3回実施し、合計で約55,000名の来場者を記録した。当会による自主企画は、日本で初めてとなるワールドインテリアウィークを記念した「暮らしデザイン展」、2回目となる事業構想大学院大学との共同企画である「地域×デザイン展」などが多くの関心を集めたほか、日本ジュエリーデザイナー協会や日本クラフトデザイン協会による企画展、若手インハウスデザイナーによるワークショップ作品展である「WITHOUT THOUGHT」展など、様々な領域のデザインの発信の場として活用されている。

2016年度開催の企画展示

名称	会期	実施主体	入場者数
特別展「WITHOUT THOUGHT Vol.15 駅STATION」	4月27日～5月15日	ダイヤモンド社/DMN	5,121名
第58回企画展「World Interiors Week 2016 in JAPAN『暮らしデザイン展』」	5月23日～5月29日	World Interiors Week in JAPAN 実行委員会	2,776名
第59回企画展「日本のグラフィックデザイン 2016」	6月17日～8月8日	日本グラフィックデザイナー協会	13,491名
第60回企画展「JAGDA学生グランプリ2016」	8月26日～9月11日	日本グラフィックデザイナー協会	2,281名
特別展「身を飾るジュエリーの力 第29回公募2016日本ジュエリー展	9月17日～9月25日	日本ジュエリーデザイナー協会	2,682名
第61回企画展「私の選んだ一品2016 ～2016年度グッドデザイン賞審査委員セレクション」	9月29日～10月23日	日本デザイン振興会	6,656名
第62回企画展「デザインの理念と形成：デザイン学の50年」	11月19日～12月25日	武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ 武蔵野美術大学 基礎デザイン学科	5,838名

特別展 「-くらし心地-第56回日本クラフト展」	2017年1月7日～15日	日本クラフトデザイン協会	5,427名
第63回企画展「地域×デザイン2017 -まちが魅えるプロジェクト-」	2月3日～2月26日	日本デザイン振興会、事業構想大学院大学	6,332名
第64回企画展「おいしい東北パッケージデザイン展2016 in Tokyo」	3月3日～3月31日	東北経済産業局、日本グラフィックデザイナー協会	6,106名



東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク 2016

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子供向け連続ワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催している。2016年度は、企業やデザイナー、教育研究機関などが企画・運営する10件を開催。電子回路や木工によるものづくり、カメラデザイン、空間デザインなど、多様なデザイン領域をプロの指導によって体験するデザインハブならではの本格的なワークショップを行った。

2016年度実施のワークショップ

名称	会期	実施主体
「MESHデザインコンテスト2016 -「いいね」をデザインするコンテスト-	8月11日	MESHプロジェクトチーム
紙の電子回路を使って光るオブジェを作ろう！	8月12日	株式会社竹尾+株式会社AglC
仮面フェスタ！ミッドタウンロッポギ村	8月12日	武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科
夏休みは家族で楽しむDIY！えらんでつくる雑貨キット	8月13日	KUMIKI PROJECT
ぎゅっと押し！印刷でカードセットをつくらう	8月13日	真映社+まんまる〇
発見！粘土で未確認飛行物体をつくらう！	8月14日	タカハシカオリ
夏休み！親子de わくわくワークショップ「あったらいいな、こんな店」	8月16日	日本商環境デザイン協会
測量野帳デザインワークショップ	8月18日	コクヨ株式会社
つくって、見て、知る『レンズの世界』	8月19日	株式会社ニコン 映像事業部 デザイン部
ロボットとセンサーで物語をつくらう！	8月20日	ユカイ工学株式会社+乙女電芸部



インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

東京ミッドタウン・デザインハブに設けられたインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターでは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業推進、各種のデザイン活動の活性化促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開している。2016年度はデザインに関する国際的な交流および情報交換を目的とした連続企画をスタートしたほか、各デザイン領域や活動において知見を深めることを目的としたシンポジウムやセミナーなどを多く開催した。

2016年度開催の主なセミナー、シンポジウム、ワークショップ

名称	実施日	実施主体
Natural wayfinding; a world without signs? (自然な道案内；サインのない世界)	4月11日	日本サインデザイン協会
デザイナーのための「意匠制度の改正に関する説明会」	4月14日	日本デザイン振興会
World Interiors Day 国際デザインシンポジウム2016	5月28日	World Interiors Week in JAPAN実行委員会
Milano Salone Description 報告会	6月7日	Milano Salone Description
「AFTER GROUNDSCAPE」 DAY3	6月11日	GSデザイン会議、日本デザイン振興会
DSAデザインセミナー「商空間を超えて都市へ」 キャナル開業二十周年／進化するJPIレガシー	6月27日	日本空間デザイン協会
JAPAN BRAND FESTIVAL TALK SALOOOON	7月12日	JAPAN BRAND FESTIVAL運営事務局
NeoCon 2016視察報告	7月27日	住商インテリアインターナショナル株式会社
Business Design Program グローバル戦略	9月16日	ダイヤモンド社/DMN
DOOR to ASIA 2016 報告会	9月19日	国際交流基金、一般社団法人つむぎや
AIA キックオフ・シンポジウム「イノベーションは感性から」	10月4日	アフェクティブイノベーション協会
JIDAフォーラム「デザイン思考のミライ」	10月6日	日本インダストリアルデザイナー協会
レゾナンス 01 The Catalytic Commoningー建築と都市デザインへの映画のアプローチ	11月24日	九州大学大学院芸術工学研究院
JAPAN BRAND FESTIVAL TALK SALOOOON Vol.02	12月12日	JAPAN BRAND FESTIVAL運営事務局
JIDAフォーラム「インダストリアルデザインの未来と再定義」	2017年2月10日	日本インダストリアルデザイナー協会
デザイン思考“以後”と、クリエイティビティの行方	2月24日	専修大学上平研究室
グローバル・デザイン教育フォーラム 2017 東京 -グローバル・デザイン教育ファカルティの創成にむけて-	3月11日	武蔵野美術大学
国際家具デザインフェア旭川2017 (IFDA2017) プレス発表	3月27日	国際家具デザインフェア旭川開催委員会



GOOD DESIGN STORE

グッドデザイン賞の広報拠点である「GOOD DESIGN STORE」は、香港3店舗、タイ・バンコクの1店舗に加え、9月には台湾・台中市の国立オペラハウス内に「GOOD DESIGN Taichung」を開設した。60周年を迎えたグッドデザイン賞をアピールするため、香港とバンコク店では、歴代の受賞デザインを展示する企画展を開催したほか、自国の受賞デザインを展示・販売する企画などを展開した。また、2017年4月開店を目指し国内初の常設販売店舗となる「GOOD DESIGN STORE TOKYO」への協力業務も始めた。



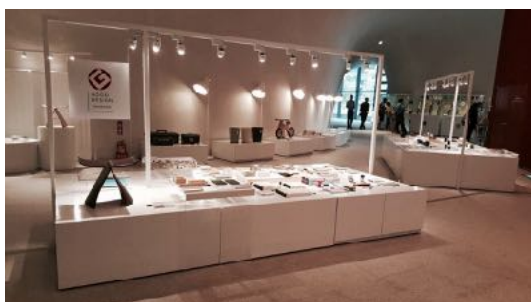
GOOD DESIGN STORE



GOOD DESIGN STORE HONG KONG



GOOD DESIGN STORE BANGKOK



GOOD DESIGN STORE Taichung



見本市や販売などの対外連携

2016年度は大手新聞社や百貨店などと連携して、見本市や展示会、店頭販売、オンラインショップなどを通してグッドデザイン賞のプロモーション活動を展開した。

2016年度の日本国内でのプロモーションイベント
SEIBU SOGO e.デパート「GOODS of GOOD DESIGN」9月28日～ ショッピングサイト（協力）

Good Over 50's 暮らしのデザイン展 11月2日～15日 西武池袋本店（協力）

GOODS of GOOD DESIGN 11月1日～14日 西武渋谷店（協力）

2016年度グッドデザイン賞燕三条受賞商品プレゼンテーション 12月12日 燕三条地場産センター（協力）

GOOD DESIGN Biz EXPO 2017 3月8日～10日 東京ビッグサイト（特別協力）

PR事業

当会事業に関するメディア向けPR活動として、2016年度は国内向けにプレスリリースを合計13回配信した（内訳：グッドデザイン賞事業関連：5回、国際事業関連：1回、地域創生事業関連：3回、東京都事業関連：3回、その他：1回）。

秋の受賞発表後に、日本テレビ系「News Zero」「news every」などの情報番組で放映が行われたほか、「日経MJ」で金賞をテーマとする特集記事が掲載された。

これに加えて、各事業に関する情報の効果的な伝播と、主要なターゲットに対する関心喚起を目的に、複数の商業媒体とタイアップなどを実施した。

「Pen Online」（CCCメディアハウス）に対しては、2016年度を通じてグッドデザイン賞のプロセスを辿るという企画趣旨のもと、審査や表彰などの主要場面における追跡取材やインタビュー対応などで協力を進め、グッドデザイン賞への関心が薄い層への訴求を図った。また「箱庭」（RIDE MEDIA&DESIGN）でのロングライフデザイン賞をテーマとするタイアップ、「コロカル」（マガジンハウス）での地域創生プロジェクトのタイアップなど、媒体特性を活かして、ターゲットとされる層に対する情報発信を進めた。

さらに、毎年主要日刊紙との間で協力を結び実施している受賞企業連合広告特集は、朝日新聞・読売新聞・日経新聞で掲載された。



GOODS of GOOD DESIGN



Good Over 50's 暮らしのデザイン展



GOOD DESIGN Biz EXPO 2017



受賞企業連合広告特集（朝日新聞）

④公共プロモーション事業

東京ビジネスデザインアワード

東京都が主催し、当会が企画運営を行う「東京ビジネスデザインアワード」は、都内ものづくり中小企業の持つ技術・素材（テーマ）を募集し、それに対して全国のデザイナーから新規用途開発を軸としたビジネス全体のデザインを募集する事業である。審査会によって優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングし、ビジネス実現化に向けた支援を行う。支援メニューとして、知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓などを実施してきたが、2016年度は、特に国内外の販路に知見のある方を審査委員に招き、またプロジェクトマネージャーを起用し伴走型の支援を目指した。

スケジュール

4月20日～6月28日	開催概要発表・テーマ募集
6月28日	テーマ審査会
8月17日～11月4日	テーマ発表・提案募集
11月9日	提案一次審査
11月21日	提案二次審査
2017年1月25日	提案最終審査・結果発表・表彰式

審査委員

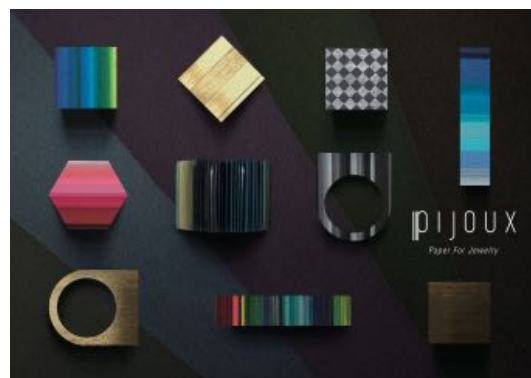
廣田尚子	プロダクトデザイナー／ヒロタデザインスタジオ 代表（審査委員長）
金谷 勉	クリエイティブディレクター／有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役
川田誠一	工学博士／産業技術大学院大学 学長
澤田且成	ブランディングディレクター／アイディーテンジャパン株式会社 代表取締役社長 CEO
服部滋樹	デザイナー・クリエイティブディレクター／デコラティブモードナンバースリー 代表取締役
日高一樹	デザイン・知的財産権戦略コンサルタント／日高国際特許事務所 所長

最優秀賞・テーマ賞

テーマ／聖書の製本により培った「三方金・三方銀付加工」	株式会社星共社
提 案／三方金の技術を応用したペーパージュエリーブランド	原田元輝、横山徳

優秀賞・テーマ賞

テーマ／水なしで肌に貼れる「特殊転写シール技術」	株式会社コスモテック
提 案／肌に貼って直接書けるメモシール	今井裕平、林雄三、 木村美智子（kenma Inc.）
テーマ／金属の板材を利用して流通に展開する「老舗板金技術」	株式会社丸和製作所
提 案／ユーザーが仕上げる花器デコレーションシート	片山典子（moviti design）



デザインコンサルティング講座

「TOKYO DESIGN EXERCISE」は、デザイナーが中小企業と効果的にデザイン開発を行うのに有用な知識の幅や視野を広げることが目的とした東京都主催の講座である。実務的なデザイン業務だけでなく、企画から販促、広報段階まで、ビジネス全体の提案ができるプロデューサー的デザイナーの育成を目的としている。様々な分野の最先端で活躍している講師を招き、デザイナーが産業とデザインの「つなぎ手」となるためのヒント獲得を目指し全8回実施した。

第1回 3月13日「デザイナーとの協業と新規ブランドの育て方」
山田明良 経営者／福永紙工株式会社 代表取締役

第2回 3月14日「デザインを軸とした事業創造と会社経営」
米津雄介 経営者・プロダクトマネージャー／THE株式会社
代表取締役社長

第3回 3月15日「整えるデザイン」
小林恭、小林マナ インテリアデザイナー／設計事務所イマ

第4回 3月17日「地場のものづくりと海外向けマーケティング」
鶴本晶子 プロデューサー／ナガエプリウス（NAGAE+）ブランドマネージャー

第5回 3月22日「弱いつながりのデザイン術 ～あなたのメタボ人脈をシェイプするエクササイズ～」
横石崇 プロデューサー／&Co.Ltd 代表取締役

第6回 3月23日「海外販路を狙うブランディング」
澤田且成 ブランディングディレクター／アイディーテンジャパン株式会社 代表取締役社長 CEO

第7回、第8回 3月24日「答えがない状況からアイデアを生む場のファシリテーション」
長崎陸 ファシリテーター／京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任専門職、ME310/SUGARインストラクター



地方創生・地域づくりデザインプロジェクト

現在、地方においては、地域資源を活用したオリジナリティのある商品やサービスを創出すること、地域の魅力をアピールし外から観光に来てもらうこと、そして住民が地域でいきいきと働くことのできる環境づくりが重要な課題となっている。本プロジェクトは、地域密着型の金融機関である信用金庫と当会が連携し、自治体ならびにその地域の事業者の新規事業をビジネス面、デザイン面の両方からバックアップすることにより、地域がデザインを活用して成長するための地盤づくりを行うものである。また、デザイン開発には地域のデザイナーを起用することにより、地域でのデザイン活用の推進と継続的な関係づくりを目指している。

西和賀デザインプロジェクト「ユキノチカラ」

岩手と秋田の県境に位置する岩手県西和賀町は奥羽山脈に囲まれ県内でも随一の豪雪地帯として知られている。住民にとってはネガティブに捉えられがちな雪を逆手にとって地域の魅力としていくことをコンセプトとして、町の事業者と県内デザイナーがタッグを組み、地域資源を活かした商品開発を行うことで町全体のPRをしていく。2016年度は販路開拓や広報、ツアーなどの事業を展開した。

事業主体者：岩手県和賀郡西和賀町

実施者：西和賀町の事業者10社

商品およびブランドの企画・デザイン：岩手県在住のデザイナー6名

地域内調整、経営支援、販路拡大支援：北上信用金庫

協力機関：信金中央金庫、岩手県工業技術センター

高鍋デザインプロジェクト「まんぷくTAKANABE」

宮崎県の高鍋町は、海と山の恵みを受けた農業と商業の盛んな町である。ブランド名の「まんぷく」には、人の心を満たす食の提案として現代社会へのメッセージを込めた。2016年度は町の事業者と宮崎県在住のデザイナーによりブランドと商品開発を行い、宮崎県内で販売したほか、今後は福岡や東京、大阪の商談会等に出展し、ふるさと納税の御礼品としての活用なども含めて販路を拡大していく予定である。

事業主体者：宮崎県児湯郡高鍋町

実施者：高鍋町の事業者8社

商品およびブランドの企画・デザイン：宮崎県在住のデザイナー7名

地域内調整、経営支援、販路拡大支援：高鍋信用金庫

協力機関：信金中央金庫、宮崎県工業技術センター

地方創生

地域づくり

デザイン

プロジェクト



事業構想大学院大学との連携

プロジェクトデザインで社会を変革する力を持った人材育成を目指す事業構想大学院大学との共同企画により、東京ミッドタウン・デザインハブにて企画展「地域×デザイン 2017 -まちが魅えるプロジェクト-」を昨年に引き続き開催した。各地で行われている地域の特色を活かした取り組みのうち、特にデザインによって価値の転換を図り魅力に変えた10のプロジェクトを展示し、地域のキーマンを招いたトークセッションを55件実施した。また、年間を通して月刊誌『事業構想』でも連携企画を展開した。

グッドデザイン賞受賞企業との連携

グッドデザイン賞受賞者による相互研究会「グッドデザインラボ」を実験的に立ち上げた。初回のテーマは「ビジネス・サービスデザイン」とし、この分野の受賞企業6社がメンバーとなり、互いのプロジェクトを発表し合うとともに、ビジネスデザインの視点からその評価ポイントを探った。

ファシリテーター

日高一樹 日高国際特許事務所 所長

廣田尚子 ヒロタデザインスタジオ 代表

参加企業

株式会社アキュラホーム、有限会社東郊住宅社、株式会社ナスタ、ブラザー工業株式会社、三菱地所レジデンス株式会社／株式会社メックecoライフ、株式会社リコー

東京藝術大学等との連携

地域社会における社会課題の解決をめざす活動を対象に、プロセスへのデザインの思考・手法の応用を促すとともに、その具体的な実践の中からデザイン分野に活かすべき知見や方法論を見出すことを目的に、東京藝術大学等と共同プロジェクト「Design@Communitiesプロジェクト」を2016年度より開始した。活動はワークショップ、アワード、シンポジウムにより構成される。2016年8月にはコミュニティ活動に携わる当事者を対象としたワークショップを開催した。さらに9月より新たな事業展開に対する金銭・人材面からの助成を行うことを目的としたアワードを開始し、全国38の応募プロジェクトから受賞（助成）プロジェクト1件、支援プロジェクト2件を決定した。

主催：Design@Communitiesコンソーシアム（東京藝術大学、Institute for Information Design Japan/IIDJ、日本デザイン振興会）

大賞「新しい・はたらくを・つくる福祉型事業協同組合 あたつく組合の挑戦」受賞者：山内民興

審査員特別賞「高齢者の職場&居場所『BABAラボ』づくりプロジェクト」桑原静

審査員特別賞「子育て期のママを応援！ママインターンプロジェクト」堀江由香里



平成28年度事業報告（総務関係）

1. 会務実施報告（役員会等の開催について）

（1）評議員会

①第16回

平成28年6月27日（月）16時00分-17時30分 当会会議室

議題：平成27年度決算報告書（案）

理事の選任（案）

報告事項：平成27年度事業報告書、グッドデザイン・フェロー称号贈呈者、今年度のグッドデザイン賞応募状況等

②第17回

平成29年3月15日（水） 16時00分-17時30分 当会会議室

議題：平成29年度事業計画書

平成29年度収支予算書

報告事項：平成29年度グッドデザイン賞審査委員長、審査副委員長及び審査委員委嘱並びにグッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱、今後の役員会日程

（2）理事会

①第18回

平成28年6月10日（金） 15時00分-16時30分 当会会議室

議題：平成27年度事業報告書（案）

平成27年度決算報告書（案）

グッドデザイン・フェロー称号の贈呈候補者（案）

評議員会の招集（案）

報告事項：理事の再任、グッドデザイン賞の今年度応募数等

②第19回

平成28年12月14日（水） 16時00分-17時15分 当会会議室

（報告事項：今年度事業進捗状況）

③第20回

平成29年2月22日（木） 15時00分-16時30分 当会会議室

議題：平成29年度事業計画書（案）

平成29年度収支予算書（案）

平成 29 年度グッドデザイン賞審査委員長、審査副委員長及び審査委員委嘱（案）並びに
グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱（案）
評議員会の招集（案）
報告事項：今後の役員会関連日程

（3）監査等

① 監事監査：平成 28 年 6 月 3 日（金）

目的：平成 27 年度事業報告書（案）

平成 27 年度決算報告書（案）

② 監査法人監査：新日本有限責任監査法人会計監査

期末監査

平成 28 年 5 月 18 日（水）、19 日（木）、20 日（金）、27 日（金）、30 日（月）、31 日（火）

当会会議室

目的：平成 27 年度決算処理

期中監査：

平成 28 年 12 月 5 日（月）、7 日（水）、8 日（木）、平成 29 年 2 月 8 日（水）、9 日（木）

当会会議室

目的：平成 28 年度会計処理

2. 賛助会員の現状

平成 28 年度末の賛助会員および情報会員数は 201 で、会費は広く公益事業に役立てている。

近年は会員数が漸減傾向にあり、平成 28 年度は 10 団体より退会届が提出された。

このため、永年継続会員を中心に個別に企業訪問し、当会として賛助会員が求める要望のヒアリングを実施しその結果等について、「賛助会員サービスの充実」を図るべく振興会内にワーキンググループを設置し検討を継続している。

なお、新規会員の募集促進を目的として、2016 年度グッドデザイン賞受賞年鑑の関係先への送付に際し、新たな賛助会員サービス制度の案内を同封し会員募集の周知を図った。

3. 後援、協賛事業について

（1）2016 年度に当会が後援ならびに協賛、協力の名義を提供した外部企画：

45 団体のべ 51 件であり、当会は各地・各種の公益事業に広く協力している。

（2）供与先内訳： 自治体およびその関連機関 13 デザイン専門団体 5 業界団体 14 民間企業 7 教育機関 5 賛助会員 1

- (3) 事業内訳 : デザイン展 8 見本市 14 デザインコンペ 14
セミナー・ワークショップ等 15

4. グッドデザイン・フェローについて

(1) グッドデザイン・フェロー称号贈呈式の実施

日時：平成 28 年 11 月 29 (火) 15 時 00 分~17 時 00 分

※ 2016 年度グッドデザイン特別賞贈賞式内にて開催

場所：国際文化会館

(2) 授与者：第 18 回理事会の議決により、下記 6 名に称号を贈呈。(敬称略)

中谷日出 / 南雲勝志 / 日高一樹 / 廣村正彰 / 山田晃三 / Rocco Yim

5. 業務管理・調整について(規程、内規、業務調整等の実績)

(1) 各種規程・内規等の新設及び改正

年月日	規程等	実施事項	概要
平成 28 年 9 月 1 日	公益財団法人日本デザイン振興会の名義使用に関する規程	新設	協力、後援内容の明確化(協力、協賛、後援) 賛助会員への支援協力を特記追加 従来の「公益財団法人日本デザイン振興会後援名義使用等に関する規定」を廃止
平成 28 年 10 月 1 日	臨時職員就業規則	新設	アルバイトの就業ルールを明文化し、合理的・効率的な労務管理を図る
平成 29 年 2 月 6 日	コーポレートカード利用取扱規程	改正	利用限度額の増額と決済口座を利用者個人の口座に変更

(2) 各種業務調整

年月日	項目	実施事項	概要
平成 28 年 4 月 26 日	常務会への審議事項申請及び内部文書決裁事項について	事務局長通達	審議事項の提案及び内部文書処理についての注意喚起
平成 28 年 9 月 29 日	コーポレートカード使用に関する措置	経理通達	個人情報流出事故発生の取引先に対するカード決済の中止等

年月日	項目	実施事項	概要
平成 29 年 2 月 14 日	平成 28 年度末に向けての経理処理について	事務局長通達	決算に向けての経理処理留意事項

(3) その他

項目	概要
職員業績評価について	平成 28 年 2 月に設置した職員「業務評価制度」を平成 28 年 4 月 1 日から適用し、賞与（上期賞与及び下期賞与）の支給について業務評価を反映させた。また、年度通期の業績評価をもとに昇給昇格の査定を実施。業務目標設定と達成度の評価により公正な人事管理と職員の能力開発に取り組んだ。

6. 行政当局等による監査、立ち入り検査等について

平成 28 年度に実施された監査、検査はない。

（例（麻布税務署税務調査）（内閣府立入検査）（地方自治体補助金事業監査）等）

7. 資産管理の現状

- (1) 保有資産について、流動性があり手堅い債券を中心に運用する方針を維持しつつ、高騰した一部の債券を売却して利益確定を行った。新たな債券購入に当たり、再び仕組債などの割合が増えぬよう、既存の資産運用規程に加え、保有資産の割合をルール化して運用にあたった。
- (2) 具体的には、預金や国債・地方債などの手堅い債券の保有割合を保有資産の 50%以上とし、仕組債や劣後債は 30%までとした。また、株や外貨建て債券などの保有はしないことを再確認した。
- (3) 【基本財産・特定資産の構成割合と評価額・運用利息】

	資産割合			評価額（円） (3. 31. 現在)	利息（円） (年間)
	預金	仕組債	国債・地方債・社債等		
H24 年度	1. 3%	93. 5%	5. 2%	1, 085, 507, 433	55, 539, 464
H25 年度	41. 7%	32. 8%	25. 5%	1, 286, 067, 926	65, 184, 645
H26 年度	23. 1%	22. 7%	54. 2%	1, 425, 831, 488	53, 357, 547
H27 年度	0. 1%	10. 1%	89. 8%	1, 596, 329, 150	29, 957, 499
H28 年度	6. 6%	10. 5%	82. 9%	1, 524, 701, 370	23, 128, 455

8. 海外におけるGマークの商標登録の現状

「G マーク」の商標登録は、海外においては 2011 年に WIPO による一括出願を行い、中国、韓国、ドイツの 3 カ国にて商標権を取得した。その後、事業の拡大とともに、シンガポール、タイ、香港、台湾の各国へ出願し、商標権を取得している。

また、GDS 事業の着手に伴い、香港において「G マーク」と「GOOD DESIGN STORE」のロゴを組み合わせた商標を申請し、2014 年に商標権を取得した。現在はタイにおいても同様の商標権の申請を行っている。

その他、インドへの「G マーク」商標、および中国への「G マーク」と「GOOD DESIGN」を組み合わせた商標等の出願を申請しているが、両国から拒絶回答があり、現在は異議申し立て(覆審請求)を行い、審査は継続中である。